

令和7年
心血管疾患の医療連携体制を担う
医療機関における診療状況
調査結果

令和7年心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況調査の概要

【調査対象】

令和7年1月1日～令和7年12月31日までの急性心筋梗塞等の医療連携体制を担う医療機関における診療状況調査

【対象機関数及び回収状況】

	急性期		回復期・再発予防・かかりつけ医		計
	病院	診療所	病院	診療所	
調査対象機関数	12	1	76	177	266
回答機関数	12	1	72	165	250
回収率	100%	100%	94.7%	93.2%	94.0%

【調査実施期間】

令和8年5月21日(木)～6月19日(金)

【調査方法】

令和8年4月1日現在での岡山県急性心筋梗塞等の医療連携体制を担う医療機関へ調査票を郵送し、FAX等にて回収

(※下記急性期医療機関13施設は、メールで調査票を送付)

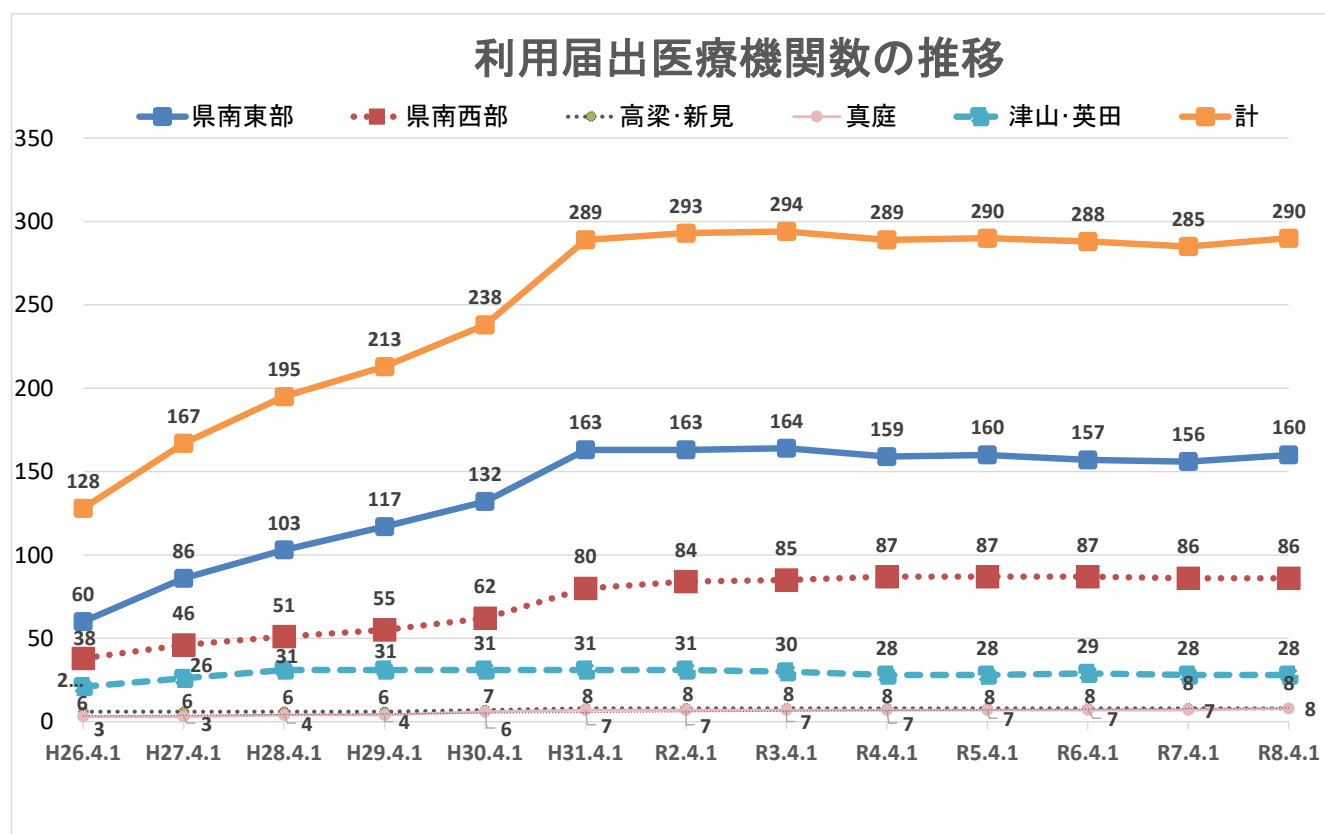
- ・独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター
- ・岡山済生会総合病院
- ・地方独立行政法人岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院
- ・総合病院岡山協立病院
- ・岡山赤十字病院
- ・岡山大学病院
- ・独立行政法人労働者健康安全機構 岡山ろうさい病院
- ・川崎医科大学総合医療センター
- ・社会医療法人社団十全会 心臓病センター榊原病院
- ・岡山ハートクリニック
- ・川崎医科大学附属病院
- ・公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
- ・一般財団法人津山慈風会 津山中央病院

安心ハート手帳 利用届出機関数（R8.4.1現在）

	急性期		回復期		再発予防		かかりつけ		計
	病院	診療所	病院	診療所	病院	診療所	病院	診療所	
県南東部	9	1	12	7	17	34	6	74	160
県南西部	2	0	6	3	22	15	9	29	86
高梁・新見	0	0	0	0	5	1	1	1	8
真庭	0	0	0	0	3	0	2	3	8
津山・英田	1	0	1	0	2	0	4	20	28
小計	12	1	19	10	49	50	22	127	290
計	13		29		99		149		290

<利用届出医療機関数の推移>

	H26.4.1	H27.4.1	H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1	R7.4.1	R8.4.1
県南東部	60	86	103	117	132	163	163	164	159	160	157	156	160
県南西部	38	46	51	55	62	80	84	85	87	87	87	86	86
高梁・新見	6	6	6	6	7	8	8	8	8	8	8	8	8
真庭	3	3	4	4	6	7	7	7	7	7	7	7	8
津山・英田	21	26	31	31	31	31	30	28	28	28	29	28	28
計	128	167	195	213	238	289	293	294	289	290	288	285	290



心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況（令和7年）

急性期病院

医療連携体制を担う医療機関の届出施設【急性期】

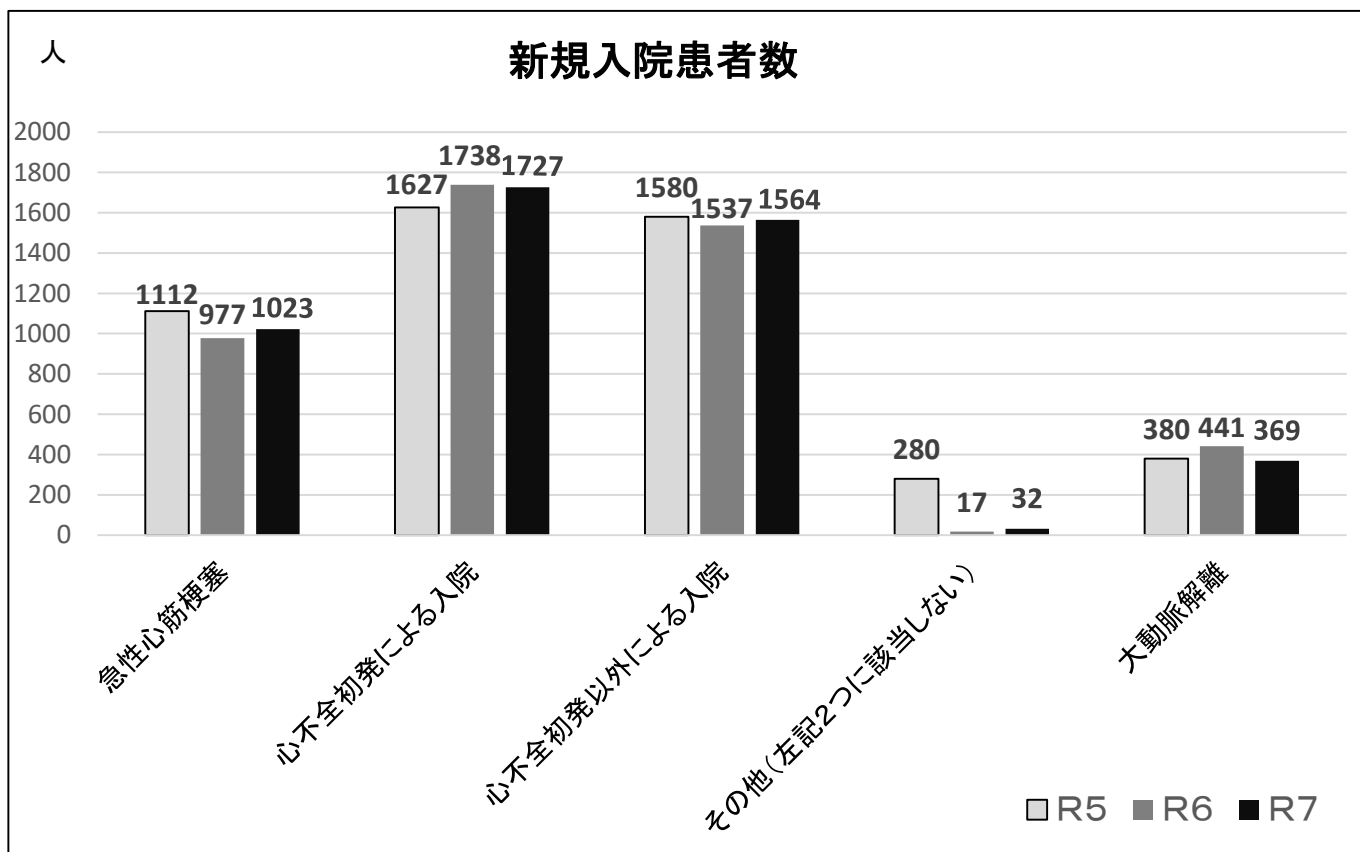
＜回答率 100%（13施設（病院12施設、診療所1施設） 集計結果＞

1 急性心筋梗塞または心不全、大動脈解離により、新規入院した患者数

		急性心筋梗塞	心不全		大動脈解離
			初発による入院 ※1	心不全初発以外 による入院	
新規入院患者数(A)		1023人	1727人	1564人	369人
入院後の 状況 (内数)	入院継続中(B)	15人	5人	6人	1人
	他医療機関への転院(C)	84人	259人	230人	90人
	退院(D) (生活の場への復帰)	657人	892人	1046人	228人
	入院中に死亡した 患者数(E)	79人	71人	81人	50人
	不明(E)	1人	0人	1人	0人

※医療機関のシステムにおいて、初発・初発以外での抽出ができない場合は、全て初発で計上

※入院後の状況(内数)が、正確にわからないと回答した医療機関があるため、総数と内数の合計が一致しない場合がある



2 入院患者のうち、地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)の適応症例に該当する患者

適応症例あり:92.3%

3 適応症例の患者に地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を交付の有無

全員交付	2医療機関(16.7%)
一部の患者に交付	10医療機関(83.3%)

※問3で適応症例に該当する患者がいたと回答した12医療機関(病院11、診療所1)についての集計

一部の患者に交付した理由

安心ハート手帳のことを知らなかった (院内での周知が図れていなかった)	1医療機関
使い方がわからなかった	0医療機関
患者の理解が得られなかった	5医療機関
忙しくて手が回らなかった	3医療機関
院内に在庫がなかった	1医療機関

※複数回答可

その他の回答(自由記載)

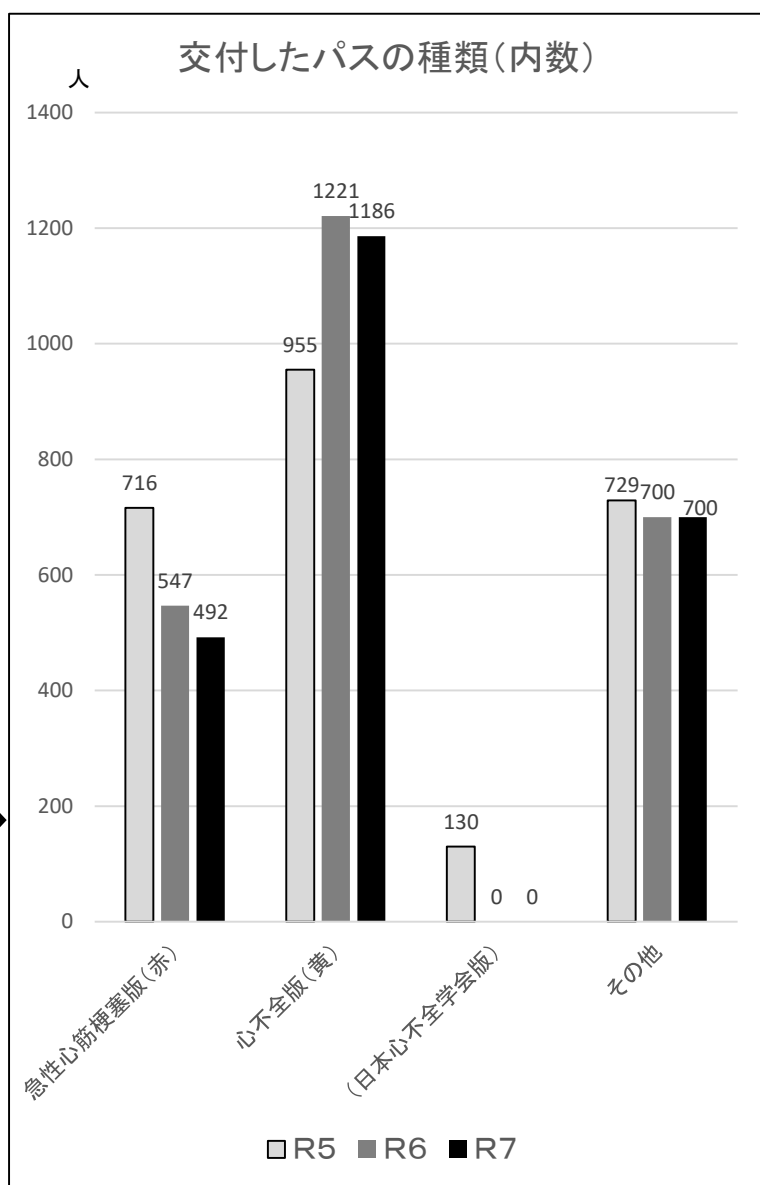
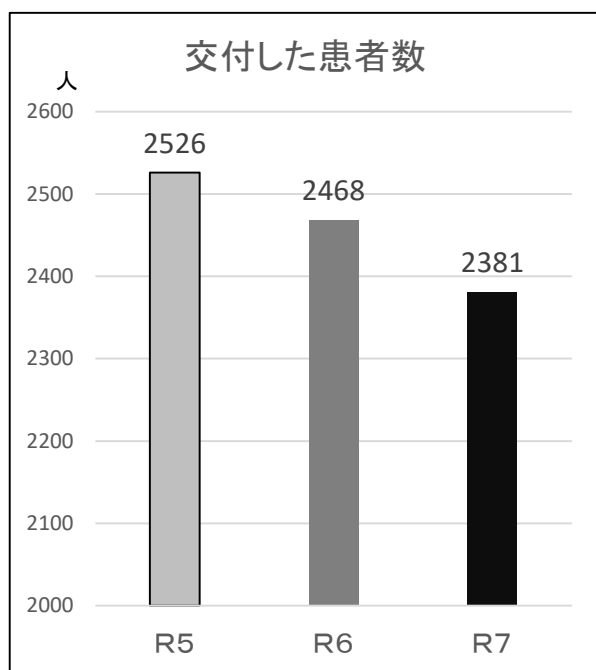
- ・院内で渡す基準を作っている
- ・患者の理解力の問題や入院を繰り返しており、既に所有しているなど
- ・手帳を活用した療養上の指導・指示が理解・履行できる患者(家族等の支援によるものを含む)を対象に交付したため、認知症等の一部患者には交付していない場合がある。

4 地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を交付した患者数

交付した患者数		(A)	2381人
パス (内数) の種類	急性心筋梗塞版(赤)	(B)	492人
	心不全版(黄)	(C)	1186人
	(日本心不全学会版)心不全手帳	(D)	0人
	その他(自院等で作成したパス等)	(E)	700人
	不明	(F)	3人

※(A)=(B)+(C)+(D)+(E)+(F)

(参考) 新規入院患者数 急性心筋梗塞:1,023人、心不全:1,727人(初発)、1,564人(初発以外)

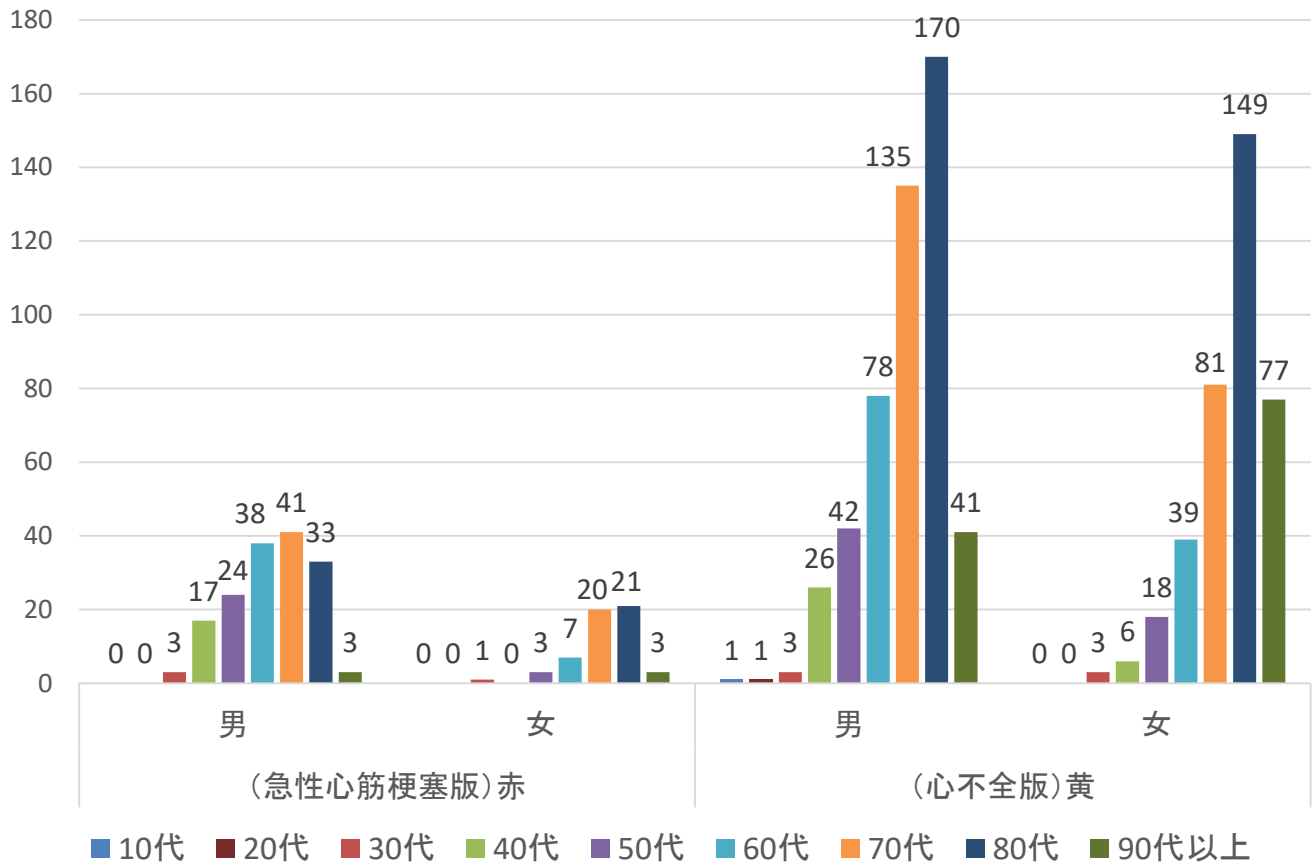


5 交付した患者の年代・性別

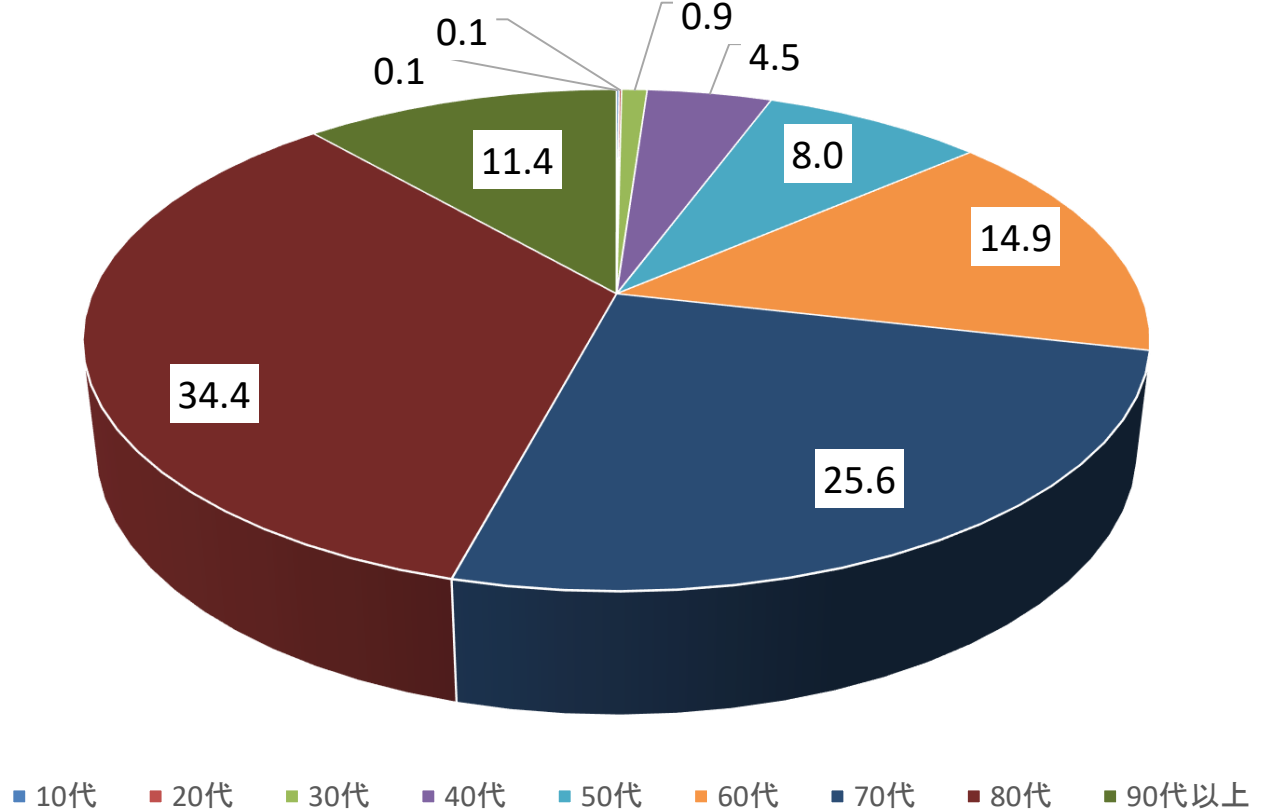
	(急性心筋梗塞版) 赤		(心不全版) 黄	
	男	女	男	女
10代	0	0	1	0
20代	0	0	1	0
30代	3	1	3	3
40代	17	0	26	6
50代	24	3	42	18
60代	38	7	78	39
70代	41	20	135	81
80代	33	21	170	149
90代以上	3	3	41	77
合計	159	55	497	373

※その他(自院等で作成したパス等)については不明。

交付したパス種類・年代・性別



パスを交付した患者の年代割合 (%)

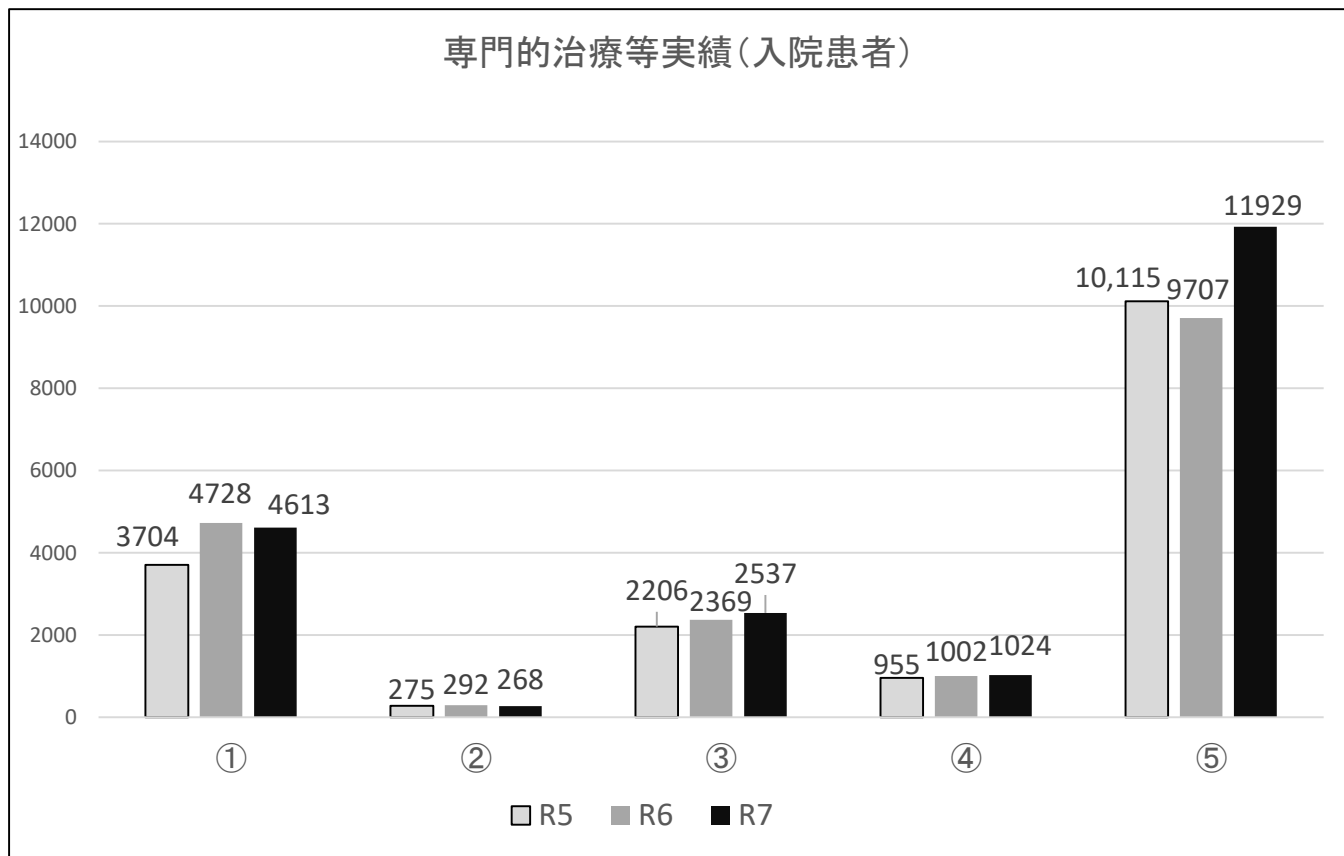


6 入院患者について、専門的治療等実施状況

区分		実施人数
① 冠動脈インターベンション(PCI)		4613人
② 冠動脈バイパス術(CABG)		268人
③ カテーテルアブレーション		2537人
④ ペースメーカー植込み(新規)		1024人
⑤ 心大血管疾患リハビリテーション(新規患者数) 計上の範囲 H000 心大血管疾患リハビリテーション科	入院患者	11929人
	外来患者	427人

7 入院患者について、経皮的冠動脈形成術及び経皮的冠動脈ステント留置術の実施状況

治療内容(診療報酬点数表のコード等)		実施人数 (算定回数)
K546 経皮的冠動脈形成術		
	1 急性心筋梗塞に対するもの	171人
	2 不安定狭心症に対するもの	234人
	3 その他のもの	716人
K549 経皮的冠動脈ステント留置術		
	1 急性心筋梗塞に対するもの	481人
	2 不安定狭心症に対するもの	413人
	3 その他のもの	1589人



8 地域連携診療計画加算の算定件数

1679件

※回答のあった13医療機関のうち、9施設(69.2%)＜病院9施設、診療所0施設＞において、算定あり。

※(参考)R2年 1041件、R3年 467件、R4年 383件、R5年 1026件、R6年 1576件

9 セルフモニタリングツールを新規に交付した患者数

	R5	R6	R7
セルフモニタリングツール	144人	90人	150人

10 急性心筋梗塞地域連携フローを使用した患者数

	R5	R6	R7
急性心筋梗塞地域連携フロー	244人	171人	272人

11 「安心ハート手帳」を始めとする医療連携ツールの改善に向けて自由記載

・次年度の集計項目についてあらかじめ教えてほしい

・岡山県内での周知、啓蒙活動としてマスメディアを利用した患者教育、仕掛け(患者側から医療サイドに働きかけてもらえるのが理想かもしれない)

心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況（令和7年）

回復期・再発予防・かかりつけ医療機関

心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関の届出施設【回復期・再発予防・かかりつけ医療機関】
253施設（病院76施設、診療所177施設）うち、回答のあった237施設（93.68%）

＜病院72施設（94.74%）、診療所165施設（93.22%）＞の集計結果

1 地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を持参した患者状況

	R5		R6		R7	
いた	57施設	26.51%	65施設	27.90%	75施設	31.65%
いない	125施設	58.14%	148施設	63.52%	140施設	59.07%
不明	26施設	12.09%	19施設	8.15%	22施設	9.28%
無記入	7施設	3.26%	1施設	0.43%	0施設	0.00%

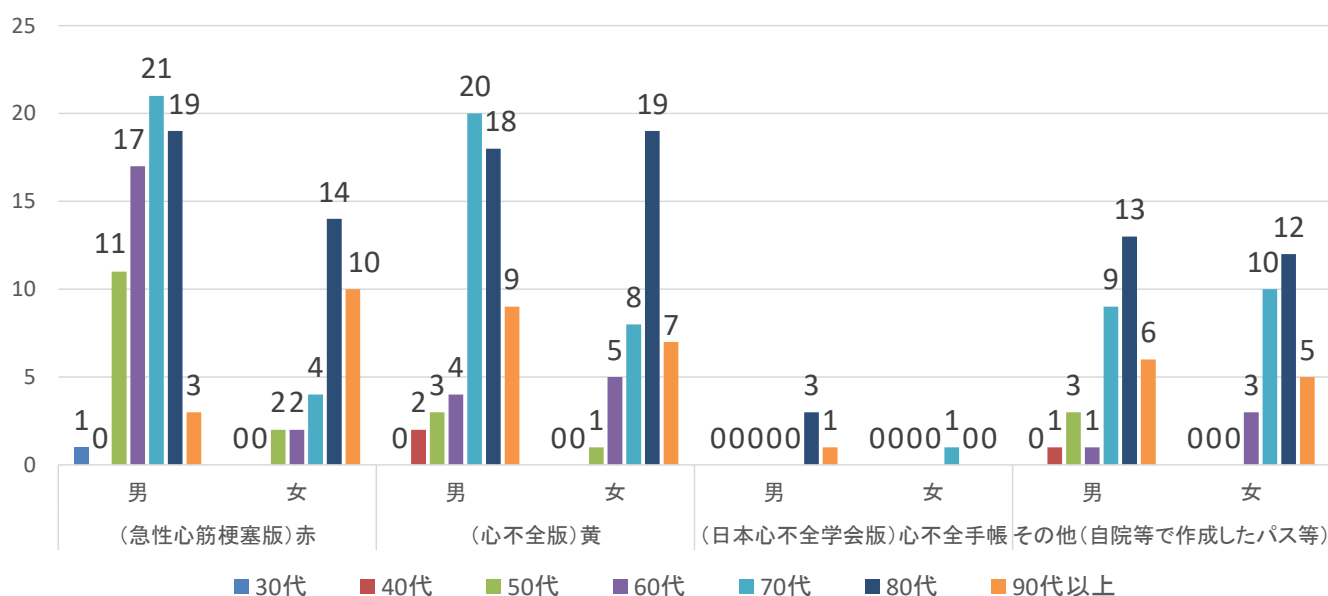
2 2で「1.いた」のうち、持参した患者について、分かる範囲での紹介元の医療機関と人数

紹介元の医療機関名	施設数	持参した患者数	うち手帳の種類									
			急性心筋梗塞版（赤）		心不全版（黄）		（日本心不全学会版） 心不全手帳		その他（他・自院等で 作成したパス等）		不明	
			施設数	持参した患者数	施設数	持参した患者数	施設数	持参した患者数	施設数	持参した患者数	施設数	持参した患者数
倉敷中央病院	33	160人	22	64人	13	33人			14	63人		
心臓病センター 榊原病院	28	52人	15	20人	20	29人	1	2人			1	1人
岡山赤十字病院	9	11人	3	3人	6	7人	1	1人				
岡山市立市民病院	8	18人	3	5人	6	13人						
岡山医療センター	7	12人	4	7人	3	4人	1	1人				
岡山大学病院	4	4人			3	3人	1	1人				
川崎医科大学附属病院	4	5人	3	4人	1	1人						
岡山ハートクリニック	3	3人	1	1人	2	2人						
岡山済生会総合病院	3	3人	1	1人	2	2人						
津山中央病院	1	1人			1	1人						
岡山ろうさい病院	1	1人	1	1人								
玉島中央病院	1	1人							1	1人		
時岡内科循環器科医院	1	1人			1	1人						
不明	2	3人			2	3人						

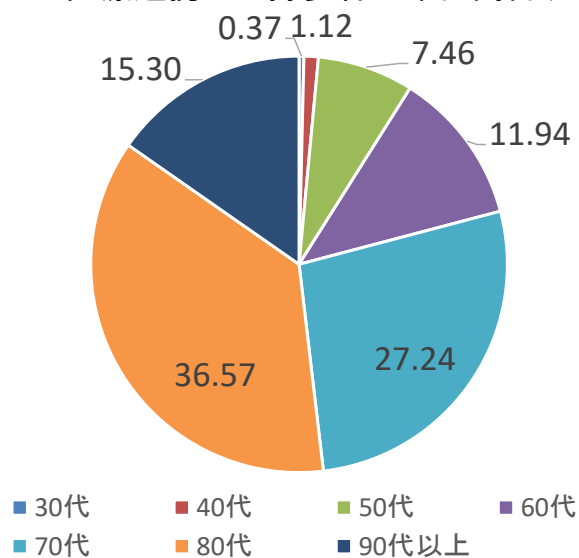
3 医療連携パスを持参した方のうち分かる範囲での患者の年代

	(急性心筋梗塞版)赤		(心不全版)黄		(日本心不全学会版)心不全手帳		その他(自院等で作成したパス等)		合計
年代	男	女	男	女	男	女	男	女	
30代	1	0	0	0	0	0	0	0	1
40代	0	0	2	0	0	0	1	0	3
50代	11	2	3	1	0	0	3	0	20
60代	17	2	4	5	0	0	1	3	32
70代	21	4	20	8	0	1	9	10	73
80代	19	14	18	19	3	0	13	12	98
90代以上	3	10	9	7	1	0	6	5	41
合計	72	32	56	40	4	1	33	30	
男女合計	104		96		5		63		268

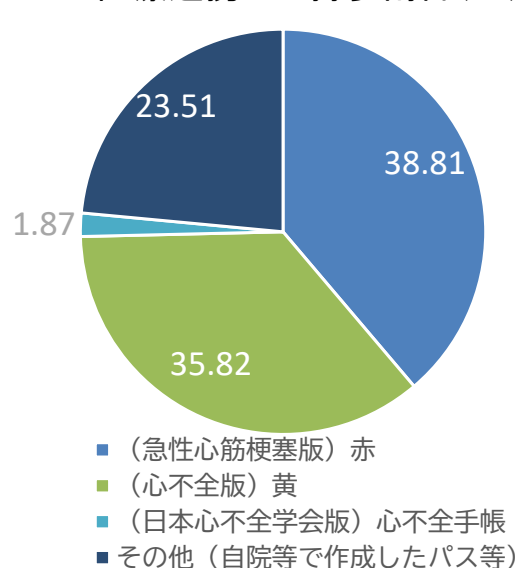
持参した医療連携パスごとの患者性別・年代(人)



医療連携パス持参者の年代割合(%)



医療連携パス持参割合(%)



- 連携パスを持参した患者の約半数は、80代、90代以上となっている
- 手帳の種類に限らず、手帳を持参する患者は、女性よりも男性が多い
- 持参された医療連携パスの約74.6%は、県が作成した医療連携パスとなっている

4 入院及び外来受診患者について、指導状況等

区分	実施施設数(施設)			実施人数(人)		
	R5	R6	R7	R5	R6	R7
① 心臓ペースメーカー指導管理	45	37	46	3094	3985	3101
② 心大血管疾患リハビリテーション	30	19	25	4276	3261	3368
③-1 栄養指導 外来栄養食事指導料	45	45	53	1160	1470	1083
③-2 栄養指導 入院栄養食事指導料(週1回)	39	43	47	1828	1801	2038
③-3 栄養指導 集団栄養食事指導料	3	3	4	179	423	413

5 セルフモニタリングツールを使って受診された患者数

	R5	R6	R7
セルフモニタリングツール	3人	0人	1人

6 急性心筋梗塞地域連携フローを使用した患者数

	R5	R6	R7
急性心筋梗塞地域連携フロー	7人	0人	22人

7 地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を始めとする医療連携ツールの改善に向けてのご意見

コメント
・心筋梗塞・心不全で紹介した病院からの逆紹介された際にも安心ハート手帳を持参されない。 ・あまり持ってきていないように思う。おそらく周知されていない。 ・医療連携パス「安心ハート手帳」を持ってくる人がいない。 ・手帳を持ってこない人が多い(入院は紹介される際に)。 ・入院しても説明を受けていない、手帳を持ってくるしてくれない、入院中の指導は退院してすぐに忘れている。体重、血圧、むくみ、息切れについて、どういう時に受診が必要か指導されていない。 ・もう少し小さいほうが使いやすいのではないかと。 ・患者さんに対して安心ハート手帳等の持参の呼びかけをお願いしたい。 ・地域連携診療計画加算を行っている診療所が少なすぎる。 ・急性期病院で安心ハート手帳を使用するように指導を行っているか確認が必要。 ・心不全など受診の目安を明確にできるツールを手帳の中に盛り込む必要があると考える。 ・多職種の連携ができるツールの作成が必要と考える。 ・カルテの共有、AIによる自動追跡・評価などデジタル化、自動化しないと普及は難しいかもしれない

岡山県急性心筋梗塞等の医療連携体制を担う医療機関
参加届出医療機関の長 殿

岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議会長
岡山県保健医療部疾病感染症対策課長

「心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況」
に係る調査について（依頼）

本県の保健医療行政の推進につきましては、平素より格別の御理解、御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、本県では、岡山県保健医療計画「心筋梗塞等の心疾患血管の医療連携体制」において定める急性期、回復期、再発予防等の各機能を担っていただいている医療機関を対象に、年1回、診療状況等の調査を行い、「岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議」を通じた現状把握や課題検討に役立てているところです。

御多忙の折、恐縮ですが、このたび令和7年分の調査を実施いたしますので、下記により御報告ください。

記

- 1 調査内容 令和7年（R7.1.1～R7.12.31）の診療状況等
- 2 調査様式 「心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況 調査表」
急性期病院用
回復期・再発予防・かかりつけ医療機関用
※貴院（所）に担っていただいている医療機能の様式のみ送付しています。
- 3 回答方法 各様式に御記入の上、FAXまたはメールにて提出してください。
（送り状は不要）
- 4 回答期限 令和8年6月19日（金）
- 5 その他 （1）昨年度の調査票から追加となった箇所には下線を引いています。
（2）記入にあたっては、同封の記入要領を御確認ください。
（3）参考に昨年度調査報告（令和6年度実績）を同封しています。

岡山県保健医療部
疾病感染症対策課疾病対策班（担当：田中）
〒700-8570 岡山市北区内山下二丁目4-6
TEL 086-226-7321 / FAX 086-226-7958
E-mail saki_tanaka@pref.okayama.lg.jp

※ 令和8年6月19日(金)までにご回答願います。

心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況 調査票

医療機関名:
住所:
連絡先電話番号:
記入者:
メールアドレス:

2025年(R7.1.1~R7.12.31)の貴院の状況についてお答えください。

問1. 2025年(R7.1.1~R7.12.31)の期間中、急性心筋梗塞、心不全または大動脈解離により、新規入院した患者数をご記入ください。

		急性心筋梗塞	心不全			大動脈解離
			初発による入院	初発以外による入院	その他	
新規入院患者数(A)		人	人	人	人	人
入院後の状況 (内数)	入院継続中(B)	人	人	人	人	人
	他医療機関への転院(C)	人	人	人	人	人
	退院(D) (生活の場への復帰)	人	人	人	人	人
	入院中に死亡した患者数(E)	人	人	人	人	人
	不明(F)	人	人	人	人	人

※ (A)=(B)+(C)+(D)+(E)+(F)

問2. 問1の入院患者のうち、地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)の適応症例に該当する患者はいましたか。

1. いた
2. いない
3. 不明
- 問3へ
→問7へ

※「安心ハート手帳」の適応症例(「安心ハート手帳運用マニュアル」より抜粋)
概ね以下に示す症例としています。
◇急性心筋梗塞
・重篤な合併症がなく、標準的な経過をたどると考えられる症例
・心臓リハビリテーションが順調に経過した症例
・ADLが自立している症例
・冠動脈再灌流療法が施行された症例
◇心不全
・重篤な合併症がなく、標準的な経過をたどると考えられる症例
・基本的に静注薬や酸素吸入が不要な症例

問3. 問2で「1. いた」を選択した方にお伺いします。

貴院では、その患者に地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を交付しましたか。

1. 全員に交付した
2. 一部の患者に交付した
3. まったく交付しなかった
- 問4へ
→問6へ

調査票2枚目へ →

医療機関名:

問4. 2025年(R7.1.1~R7.12.31)の期間中、地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を新規に交付した患者数をご記入ください。

交付した患者数		(A)	人
パス (内数) の種類	急性心筋梗塞版(赤)	(B)	人
	心不全版(黄)	(C)	人
	(日本心不全学会版)心不全手帳	(D)	人
	その他(自院等で作成したパス等)	(E)	人
	不明	(F)	人

※(A)=(B)+(C)+(D)+(E)+(F)

問5. 問4で交付した患者の年代・性別を分かる範囲でご記入ください。

	急性心筋梗塞版(赤)		心不全版(黄)		(日本心不全学会版)心不全手帳		その他	
	男	女	男	女	男	女	男	女
10代								
20代								
30代								
40代								
50代								
60代								
70代								
80代								
90代以上								
合計								

問6. 問3で「2. 一部の患者に交付した」または「3. まったく交付しなかった」を選択した方にお伺いします。
地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を交付しなかった主な理由をお聞かせ下さい。(2つまで回答可)

1. 安心ハート手帳のことを知らなかった(院内での周知が図られていなかった)。
2. 使い方がわからなかった。
3. 患者の理解が得られなかった。
4. 忙しくて手が回らなかった
5. 院内に在庫がなかった。
6. その他

調査票3枚目へ →

医療機関名：

問7. 2025年(R7.1.1～R7.12.31)の期間中の入院患者について、専門的治療等実施状況をご記入ください。
また、心大血管疾患リハビリテーションのみ外来受診患者についてもご記入ください。

区分	実施人数
① 冠動脈インターベンション(PCI)	人
② 冠動脈バイパス術(CABG)	人
③ カテーテルアブレーション	人
④ ペースメーカー植込み(新規)	人
⑤ 心大血管疾患リハビリテーション(新規患者数)	入院患者→ 人
	外来受診患者→ 人

問8. 2025年(R7.1.1～R7.12.31)の期間中の入院患者について、経皮的冠動脈形成術及び経皮的冠動脈ステント留置術の実施状況をご記入ください。

治療内容(診療報酬点数表のコード等)	実施人数 (算定回数)
K546 経皮的冠動脈形成術	
1 急性心筋梗塞に対するもの	人
2 不安定狭心症に対するもの	人
3 その他のもの	人
K549 経皮的冠動脈ステント留置術	
1 急性心筋梗塞に対するもの	人
2 不安定狭心症に対するもの	人
3 その他のもの	人

問9. 2025年(R7.1.1～R7.12.31)の期間中の地域連携診療計画加算の算定件数をご記入ください。

(参考)地域連携診療計画加算:300点(退院時1回)

件

問10. 2025年(R7.1.1～R7.12.31)の期間中、セルフモニタリングツールを新規に交付した患者数をご記入ください。

セルフモニタリングツール	人
--------------	---

問11. 2025年(R7.1.1～R7.12.31)の期間中、急性心筋梗塞地域連携フローを使用した患者数をご記入ください。

急性心筋梗塞地域連携フロー	人
---------------	---

問12. 「安心ハート手帳」を始めとする医療連携ツールの改善に向けて、お気づきの点、あった方がよいと感じる内容がございましたら自由にご記載ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。



心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況調査

【記入要領】

<回答にあたっての留意事項>

2025 年（R7. 1. 1～R7. 12. 31）の貴院の状況についてお答えください。

・全国規模の統計調査との比較を行うため、調査期間を「1～12月」にしています。

【問 1】

2025 年（R7. 1. 1～R7. 12. 31）の期間中、急性心筋梗塞、心不全または大動脈解離により、新規入院した患者数をご記入ください。

- ・2025 年（R7.1.1～R7.12.31）の期間中に貴院に「急性心筋梗塞」、「心不全」、「大動脈解離」を主疾患名として入院した患者数を延人数で記載してください。
- ・「心不全」については、下記のとおり区分して計上してください。
 - 「初発による入院」・・・はじめて心不全を発症した患者（R6.12.31 以前から初発により入院継続中の患者を含む）
 - 「初発以外の入院」・・・従前から心不全の症状があり、急性増悪のため再入院した者等、初発以外の入院患者（R6.12.31 以前から入院継続中の患者を含む）
 - 「その他」・・・「初発による入院」、「初発以外の入院」に当てはまらない患者
- ※急性増悪による入院について、「初発」、「初発以外」が不明の場合は、「初発による入院」として計上してください。
- ・1回の入院を「1」とし、同じ患者が複数回入院した場合は、延人数で記載してください。
- ・1人の患者が、別区分の心疾患で上期間内に入院した場合は、それぞれの疾患における入院として計上してください。
- ・他医療機関への転院（C）には、院内の他科への転棟も含めてください。
（例：急性期病棟から、慢性期病棟や地域包括ケア病棟等への転棟）
- ・退院（生活の場への復帰）（D）には、自宅のほか、介護老人保健施設、老人ホーム、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅も含めて、計上してください。
- ・不明（F）には、（B）、（C）、（D）、（E）に当てはまらない場合、もしくは入院後の状況が不明の場合に計上してください。
- ・新規入院患者数（A）＝入院継続中（B）＋他医療機関への転院（C）＋退院（D）＋入院中に死亡した患者数（E）＋不明（F）となります。

【問2】

問1の入院患者のうち、地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）の適応症例に該当する患者はいましたか。

- ・地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）とは、県が配付している「急性心筋梗塞医療連携パス 安心ハート手帳（赤）」、「心不全医療連携パス 安心ハート手帳（心不全版）（黄）」、または自院等で独自に作成している同種のパス等のことです。

【問4】

2025年（R7.1.1～R7.12.31）の期間中、地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を新規に交付した患者数をご記入ください。

- ・県が配付している、「急性心筋梗塞医療連携パス 安心ハート手帳（赤）」・「心不全医療連携パス 安心ハート手帳（心不全版）（黄）」、日本心不全学会が作成している「心不全手帳」、またはそれに類するものについて、それぞれ交付した人数を記載してください。
- ・1人の患者に種類の異なる、地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を交付した場合は、それぞれ「1人」として計上してください。
- ・手帳を紛失した患者に再交付したことがあきらかな場合は、計上しないでください。

【問5】

問4で交付した患者の年代・性別を分かる範囲でご記入ください。

- ・問4で交付したと回答した、「急性心筋梗塞医療連携パス 安心ハート手帳（赤）」、「心不全医療連携パス 安心ハート手帳（心不全版）（黄）」、「心不全手帳」、またはそれに類するものについて、交付した年代・性別ごとの人数を記載してください。

【問7】

2025年（R7.1.1～R7.12.31）の期間中の入院患者について、専門的治療等実施状況をご記入ください。また、心大血管疾患リハビリテーションのみ外来受診患者についてもご記入ください。

- ・下表の区分に従い、診療報酬を算定した回数を記載してください。
- ・1回の治療内容で複数区分の診療報酬点数を算定した場合は、それぞれの区分を「1人」として計上してください。
- ・同一区分の中で、複数の治療内容を行った場合でも、区分としては「1人」として計上してください。
- ・同じ患者が1つの算定区分を上記期間中に複数回算定した場合は、延人数として計上してください。
- ・問1の入院患者数と一致する必要はありません。
- ・上記期間中に心大血管疾患リハビリテーションについて、入院・外来受診どちらも算定した場合は、それぞれでカウントしてください。

区分	左記の各区分に含まれる治療内容（診療報酬点数表のコード等）
① 冠動脈インターベンション（PCI）	K547 経皮的冠動脈粥種切除術 K548 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの） K550 冠動脈内血栓溶解療法 K550-2 経皮的冠動脈血栓吸引術
② 冠動脈バイパス術（CABG）	K552 冠動脈、大動脈バイパス移植術 K552-2 冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工肺を使用しないもの） K553 心室瘤切除術（梗塞切除を含む） （※「1 単独のもの」を除く） 2 冠動脈血行再建術（1 吻合）を伴うもの 3 冠動脈血行再建術（2 吻合以上）を伴うもの K553-2 左室形成術、心室中隔穿孔閉鎖術、左室自由壁破裂修復術 （※「1 単独のもの」を除く） 2 冠動脈血行再建術（1 吻合）を伴うもの 3 冠動脈血行再建術（2 吻合以上）を伴うもの
③ カテーテルアブレーション	K594-2 肺静脈隔離術 K595 経皮的カテーテル心筋焼灼術
④ ペースメーカー植込み（新規）	K597 ペースメーカー移植術 K598 両心室ペースメーカー移植術（CRT） K599 植込型除細動器移植術（ICD） K599-3 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（CRTD）
⑤ 心大血管疾患リハビリテーション （新規患者数）	H000 心大血管疾患リハビリテーション料

【問 8】

2025 年（R7. 1. 1～R7. 12. 31）の期間中の入院患者について、経皮的冠動脈形成術及び経皮的冠動脈ステント留置術の実施状況をご記入ください。

・「K546 経皮的冠動脈形成術」及び「K549 経皮的冠動脈ステント留置術」の「1 急性心筋梗塞に対するもの」、「2 不安定狭心症に対するもの」、「3 その他のもの」について、診療報酬を算定した回数を記載してください。

・1回の治療内容で複数区分の診療報酬点数を算定した場合は、それぞれの区分を「1人」として計上してください。

同一区分の中で、複数の治療内容を行った場合でも、区分としては「1人」として計上してください。

・同じ患者が1つの算定区分を上記期間中に複数回算定した場合は、延人数として計上してください。

・問1の入院患者数と一致する必要はありません。

【問 9】

2025 年（R7. 1. 1～R7. 12. 31）の期間中の地域連携診療計画加算の算定件数をご記入ください。

- ・診療報酬加算点数を算定した件数(延件数)を記載してください。
- ・同じ患者が、複数回入院する等により、複数回算定している場合は、それぞれ「1件」とし、延件数で計上してください。
- ・問1の入院患者と一致する必要はありません。上記期間外に治療した患者について、上記期間中に診療報酬を算定した場合は、件数にカウントしてください。

【問 10】

2025 年（R7. 1. 1～R7. 12. 31）の期間中、セルフモニタリングツールを新規に交付した患者数をご記入ください。

- ・県が配付している「セルフモニタリングツール」を交付した人数を記載してください。

【問 11】

2025 年（R7. 1. 1～R7. 12. 31）の期間中、急性心筋梗塞地域連携フローを使用した患者数をご記入ください。

- ・県が配付している「急性心筋梗塞地域連携フロー」を紹介状に添付した患者数を記載してください。

回復期・再発予防・かかりつけ医療機関用

心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況 調査票

医療機関名:
住所:
連絡先電話番号:
記入者:
メールアドレス:

2025年(R7.1.1~R7.12.31)の貴院の状況についてお答えください。

問1. 2025年(R7.1.1~R7.12.31)の期間中に、地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を持参した患者はいましたか。

1. いた
2. いない
3. 不明
- 問2へ
→問4へ

問2. 問1で「1.いた」を選択した方にお伺いします。
地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を持参した患者について、紹介元の医療機関と人数を、分かる範囲でご記入ください。

紹介元の医療機関名	持参した患者数	うち手帳の種類が分かるもの			
		急性心筋梗塞版(赤)	心不全版(黄)	(日本心不全学会版)心不全手帳	その他(他・自院等で作成したパス等)
	人	人	人	人	人
	人	人	人	人	人
	人	人	人	人	人
	人	人	人	人	人

問3. 問2で記載した患者の年代・性別について、分かる範囲でご記入ください。

	急性心筋梗塞版(赤)		心不全版(黄)		(日本心不全学会版)心不全手帳		その他(他・自院等で作成したパス等)	
	男	女	男	女	男	女	男	女
10代								
20代								
30代								
40代								
50代								
60代								
70代								
80代								
90代以上								
合計								

医療機関名

問4. 2025年(R7.1.1～R7.12.31)の期間中の急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離を主疾患とする入院及び外来受診患者への指導状況等をご記入ください。

区分	実施人数
① 心臓ペースメーカー指導管理	人
② 心大血管疾患リハビリテーション	人
③-1 栄養指導 外来栄養食事指導料	人
③-2 栄養指導 入院栄養食事指導料(週1回)	人
③-3 栄養指導 集団栄養食事指導料	人

問5. 2025年(R7.1.1～R7.12.31)の期間中、セルフモニタリングツールを使って受診された患者数をご記入ください。

セルフモニタリングツール	人
--------------	---

問6. 2025年(R7.1.1～R7.12.31)の期間中、急性心筋梗塞地域連携フローを使用した患者数をご記入ください。

急性心筋梗塞地域連携フロー	人
---------------	---

問7. 地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を始めとする医療連携ツールの改善に向けて、お気づきの点がございましたら、自由にご記載ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況調査

【記入要領】

＜回答にあたっての留意事項＞

2025 年（R7. 1. 1～R7. 12. 31）の貴院の状況についてお答えください。

- ・ 全国規模の統計調査との比較を行うため、調査期間を「1～12月」にしています。

【問 1】

2025 年（R7. 1. 1～R7. 12. 31）の期間中に、地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を持参した患者はいましたか。

- ・ 地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）とは、県が配付している「急性心筋梗塞医療連携パス 安心ハート手帳（赤）」及び「心不全医療連携パス 安心ハート手帳（心不全版）（黄）」または、自院等独自に作成している同種のパス等のことです。

【問 2】

地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を持参した患者について、紹介元の医療機関と人数を分かる範囲でご記入ください。

- ・ 入院、外来は問いません。
- ・ 県が配付している「急性心筋梗塞医療連携パス 安心ハート手帳（赤）」・「心不全医療連携パス 安心ハート手帳（心不全版）（黄）」、日本心不全学会が作成している「心不全手帳」、またはそれに類するものについて、それぞれ持参した人数を記載してください。
- ・ 1 人の患者が種類の異なる、地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を持参した場合は、それぞれ「1 人」として計上してください。
- ・ 内訳など、不明な箇所は空欄で結構です。

【問 3】

問 2 で記載した患者の年代・性別について、分かる範囲でご記入ください。

- ・ 問 2 で持参したと回答した、「急性心筋梗塞医療連携パス 安心ハート手帳（赤）」、「心不全医療連携パス 安心ハート手帳（心不全版）（黄）」、「心不全手帳」、またはそれに類するものについて、持参した患者の年代・性別ごとの人数を記載してください。
- ・ 1 人の患者が種類の異なる、地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を持参した場合は、それぞれ「1 人」として計上してください。
- ・ 不明な箇所は空欄で結構です。

【問4】

2025 年（R7. 1. 1～R7. 12. 31）の期間中の急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離を主疾患とする入院及び外来受診患者への指導状況等をご記入ください。

- ・2025 年（R7. 1. 1～R7. 12. 31）の期間において、急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離を主疾患とする者に対して、下表の区分に従い、実際に行った治療等の人数（実人数）を記載してください。
- ・同じ患者が、入院と外来受診をしている場合は、実人数「1 人」として計上してください。
- ・同じ患者が、別区分の心疾患で入院または外来受診した場合は、それぞれの疾患において「1 人」として計上してください。

区分	左記の各区分に含まれる治療内容（診療報酬点数表のコード等）
① 心臓ペースメーカー指導管理	B001-12 心臓ペースメーカー指導管理料
② 心大血管疾患リハビリテーション	H000 心大血管疾患リハビリテーション料
③ -1 栄養指導	B001-9 外来栄養食事指導料
③ -2 栄養指導	B001-10 入院栄養食事指導料(週 1 回)
③ -3 栄養指導	B001-11 集団栄養食事指導料

【問5】

2025 年（R7. 1. 1～R7. 12. 31）の期間中、セルフモニタリングツールを使って受診された患者数をご記入ください。

- ・県が配付している「セルフモニタリングツール」を活用し、患者自身が症状悪化を把握して受診された患者の数を記載してください。

【問6】

2025 年（R7. 1. 1～R7. 12. 31）の期間中、急性心筋梗塞地域連携フローを使用した患者数をご記入ください。

- ・県が配布している「急性心筋梗塞地域連携フロー」を活用し、疾病管理等を行った患者数を記載してください。